

Web クライアント 変更点 (Ver2.30R03 → Ver2.30R04)

2002年 12月 26日
松下システムソリューションズ(株)

- ・Global Webクライアント が Ver 2.30R04 にバージョンアップされました。
変更点は以下のとおりです。

サーバー	UNIX版	5.12R07
	WindowsNT版	5.12R07
WWW ブラウザー	Windows 95/98/NT4.0/2000	Internet Explorer 5.01(5.00.2919.6307) ～ 6
		Netscape Navigator 4.7x 以降/6.2

※ Internet Explorer 5.5SP2 を推奨します。

※ Internet Explorer 4.01SP2 は動作確認は致しておりますが、インターネットウィルスの危険性に対しパッチ適用等がなされておりませんのでInternet Explorer 5.5SP2 以上へバージョンアップされることを推奨します。

不具合修正

[全般]

WebサーバーがUNIXの時に、「1」.txt, 「2」.txt という2つのファイルをWindowsクライアントから添付して、Webクライアントで内容表示すると?.txt というファイルが1つしか添付されない不具合を修正しました。

[メール部]

本文が quoted printable でエンコードしているメールを、メールフォルダに保存した際に、本文が文字化けする不具合を修正しました。

まれに、他のアプリケーションを操作しながら、メールの送信画面を表示し、ファイルを添付すると、ファイルの添付に失敗する不具合を修正しました。

サーバーの設定を「CUG宛メールを許可」にし、メールが7件以上あるユーザーでログインし、メールのソート項目を標準にすると、6件のメールが一覧でループして表示される不具合を修正しました。

サーバーの設定を「メールをDB格納する」とし、1920Byteの整数倍のファイルをメール送信画面で添付しメールを送信した場合に、送信時にメールが見つからなくなる不具合を修正しました。

メールの検索にて、文書名を指定してから検索を実行した後に、日付の範囲を追加で指定して検索を実行し、日付の指定をクリアしてから、再度、文書名の指定だけで検索を実行した場合に、検索結果が不正になる不具合を修正しました。

外部からきたメールに対して、「全員に返信」にチェックを入れた状態で返信した場合、自分のアドレスも宛先に追加される不具合を修正しました。

メールフォルダのソート項目を参照回数でソートに設定した場合に、メールフォルダ内のメールを参照することで参照回数がカウントされない不具合を修正しました。

[ファイル部]

文書の参照回数がカウントされない不具合を修正しました。

文書の添付に抽出ファイルが複数ある場合、元ファイルとは違う抽出ファイルがリンクされていることがある不具合を修正しました。

フォルダーのURLをメールで送信した後に、フォルダーを送信したメールのURLから開き、開いた画面をログアウトで閉じた場合に、元の画面を操作するとログインを要求される不具合を修正しました。

文書の参照時に、ファイル名に日本語が含まれている添付ファイルをファイルに保存すると、ファイル名が不正になる不具合を修正しました。

[フォーラム部]

文書の参照回数がカウントされない不具合を修正しました。

[ワークフロー部]

分岐条件に含まれるチェックボックス、ラジオボタンが未チェックの場合、分岐処理でエラーとなる不具合を修正しました。

通知メールのURLをクリックすると書類画面が真っ白になる場合がある不具合を修正しました。

外部ネットワークから書類を起案できないように修正しました。

印影情報が不正な場合、書類の帳票が途中までしか表示されない不具合を修正しました。

書類履歴一覧に「決裁番号付与」を表示可能に修正しました。

[Oracle Portal部]

Netscape Navigatorにて、ワークフローのポートレット内のプロセスにリンクがついている不具合を修正しました。